

第 101 期

中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

証券コード 1860

- P1 株主の皆様へ
- P3 工事実績・受注工事のご紹介
- P6 TOPICS
- P19 財務情報
- P21 株主総会資料の電子提供制度に関するご案内
- P22 株主様アンケート結果のご報告

よこはま新港合同庁舎
神奈川県横浜市中区

ごあいさつ



代表取締役社長

大谷 清介

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第101期上半期(2023年4月1日～2023年9月30日)の業績及び事業活動についてご報告申し上げます。

現在、当社では新本社ビル「TODA BUILDING」を建設中です。「人と街をつなぐ」をコンセプトに、アートとビジネスが交錯する新たな場所として、このTODA BUILDINGを従来のオフィスの枠を超えた新しい文化の発信地としていきます。

TODA BUILDINGの建設には、当社の保有する様々な先端技術を適用し、未来の建設産業が注力すべき様々な領域に取り組む場とし、将来の収益基盤構築にもつなげていきます。

当社は今後も、このような新しい価値の創造プロセスを通じて、人の「力」や「想い」、「温もり」を大切に、「喜び」を実現してまいります。

今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営成績に関する説明

当社グループにおいては、2022年5月に「中期経営計画2024ローリングプラン」を公表し、建築、土木及び戦略の各基幹事業における顧客への提供価値の進化を進めるとともに、重点管理事業として、新TODAビル、海外事業及び浮体式洋上風力発電事業等の再エネ事業を掲げ、これらの事業へ成長投資を行い事業ポートフォリオの強化をしております。当第2四半期連結累計期間においても中長期的成長を目指すため、トップマネジメントの積極的関与のもと継続して成長投資を推進しました。なお、成長投資を推進する一方でROE(自己資本利益率)8%以上を中長期的に確保するため、ROIC(投下資本利益率)5%以上を収益性の管理指標として設定するなど、投資プロセスの強化にも取り組んでおります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高については、前連結会計年度においてPT Tatumulia Nusantara Indah及び同社の子会社7社を

連結子会社にしたことにより海外グループ会社事業の売上高が増加しましたが、建築事業、土木事業及び国内投資開発事業の売上高が減少したことにより、2,303億円と前年同四半期比4.0%の減少となりました。

営業損益については、建築事業において前連結会計年度に複数件の工事で工事損失引当金を計上したことに伴う反動増などにより、売上総利益は246億円と前年同四半期比24.1%の増加となりました。また、販売費及び一般管理費は214億円と前年同四半期比10.6%の増加となりましたが、営業利益は31億円と前年同四半期比580.6%の増加となりました。

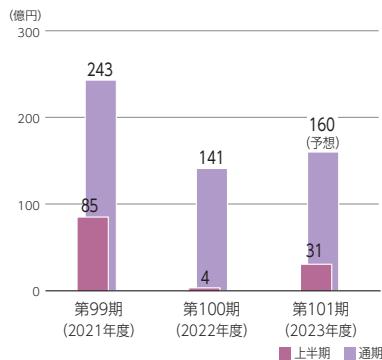
経常損益については、円安に伴う為替差益など営業外収益が増加したことにより、82億円と前年同四半期比119.9%の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、52億円と前年同四半期比62.7%の増加となりました。

●財務ハイライト(連結)

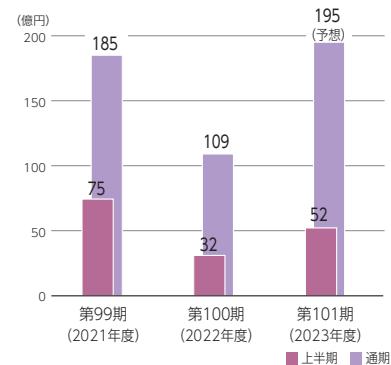
売上高



営業利益



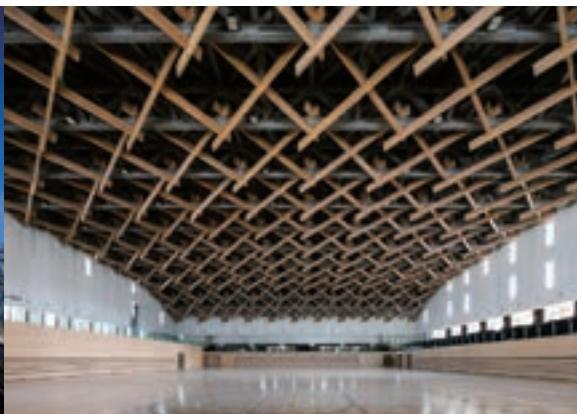
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



工事実績・受注工事のご紹介

建築

▼第101期上半期の主な完成工事



発注者

(学)東洋大学

工事名称

東洋大学赤羽台キャンパス新校舎建設工事(敷地C)



発注者

横浜市

工事名称

消防本部整備工事(建築工事)



発注者

(株)御幸ビルディング

工事名称

(仮称)神田御幸ビル建替工事



発注者

安田不動産(株)

工事名称

元京都市立植柳小学校跡地活用計画



発注者

兵神装備(株)

工事名称

兵神装備株式会社

横浜プロモーションセンター新築工事



発注者

(株)中央倉庫

工事名称

株式会社中央倉庫 大津関津計画

▼第101期上半期の主な受注工事

発注者	工事名称
釧路市	市立釧路総合病院新棟建設等事業
国分グループ本社(株)	(仮称)国分第二本社ビル新築計画
東京都	東京国際フォーラム(5)改修工事
(医)研水会	医療法人研水会高根台病院・あさひの郷移転新築工事
東京都	東京国際展示場(5)会議棟及び西展示棟改修工事
福岡県	福岡武道館新築工事
リョービ(株)	リョービ(株)本社新館建築工事

工事实績・受注工事のご紹介

土木

▼第101期上半期の主な完成工事



発注者

(同)道北風力

工事名称

道北風力発電事業 川南ウインドファーム建設工事



発注者

滋賀県

工事名称

原松原線 補助都市計画街路工事



発注者

国土交通省関東地方整備局

工事名称

R2国道51号神宮橋架替鹿嶋側橋梁下部その1工事

▼第101期上半期の主な受注工事

発注者	工事名称
国土交通省 中部地方整備局	令和5年度設楽ダム本体建設 第1期工事
環境省	令和5年度から令和6年度までの 浜通り北支所管内仮置場復旧等
横浜市	第一戸塚線口径1200mm配水管 更新工事
秋田市	仁井田浄水場取水・導水施設 整備工事
環境省	令和5年度中間貯蔵浪江地区 除去土壌等輸送工事
東日本高速道路(株)	東北自動車道 狐壇歩道撤去

2024年秋「TODA BUILDING」がグランドオープン

京橋発の芸術文化の拠点形成を担うオフィスビル開業

当社が進める「京橋一丁目東地区計画」の、当社街区の大規模オフィスビル開発について、新社屋のビル名称を旧本社ビルの名称を継承し「TODA BUILDING」として、2024年秋にオープンすることを決定しました。



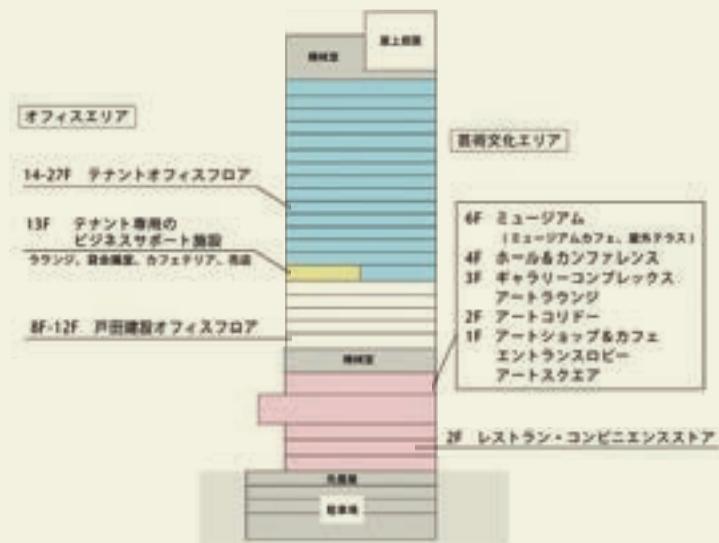
TODA BUILDING 外観パース

TODA BUILDING

TODA BUILDINGの施設構成

TODA BUILDINGは、地下3階地上28階建ての超高層複合用途ビルです。8～27階をオフィスフロア、1～6階を芸術文化施設と商業施設で構成し、ビル共用部でのワーカーと芸術文化エリア利用者の交流を意図した計画となっています。また、にぎわいの骨格軸である中央通り側に広場を設けることで街に開かれたビルとし、アートへのアクセス性を高め、アートとビジネス

の融合を生み、ビルユーザーへの「アート&ウェルネス」の提供を図ります。



TODA BUILDING 施設構成

「アート&ウェルネス」をテーマに クリエイティビティを誘発するオフィスエリア

TODA BUILDINGのオフィスは、建物上層部8～27階に、「アート&ウェルネス」をテーマとしたワークプレイスとして誕生します。テナント企業にご利用いただくのが15フロア(総貸室面積約46,300㎡)、当社が利用するのが5フロアです。基準階面積は約2,384㎡(約721坪)あり、コアから窓面まで奥行が3辺ともに約18mの無柱空間は、企業の多様な働き方に応じて、フレキシビリティの高いレイアウトを実現します。

ワークスタイルに寄り添う充実の ビジネスサポートフロア

ワーカーが全オフィスフロアからダイレクトにアクセスできる13階に、テナント専用のビジネスサポート施設として、カフェテリア、ラウンジ、貸会議室を整備します。カフェテリアでは、終日カフェメニューを提供するのに加え、「健康食」に配慮したランチメニューを提供し、ワーカーの健康をサポートします。貸会議室は、エグゼクティブミーティングにも対応した設えで、テナント企業の多様なビジネスニーズに合わせて利用できます。



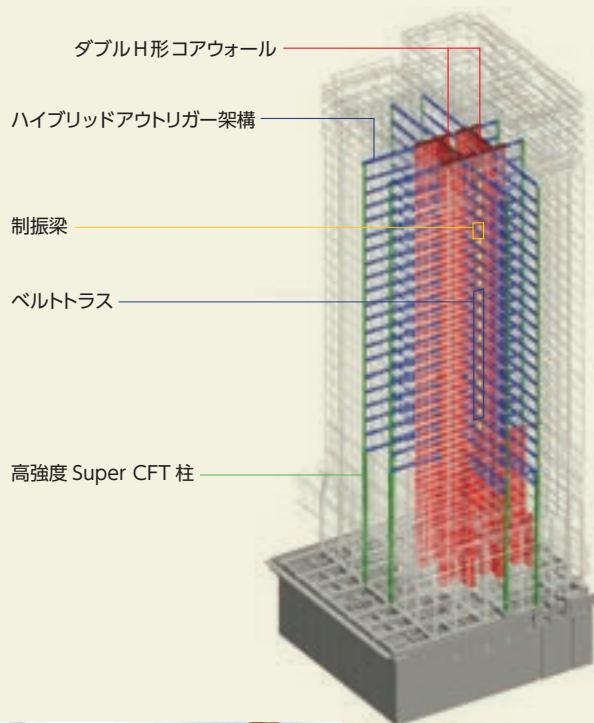
13F カフェテリア



13F ラウンジ

TODA BUILDINGの構造 コアウォール免震構造

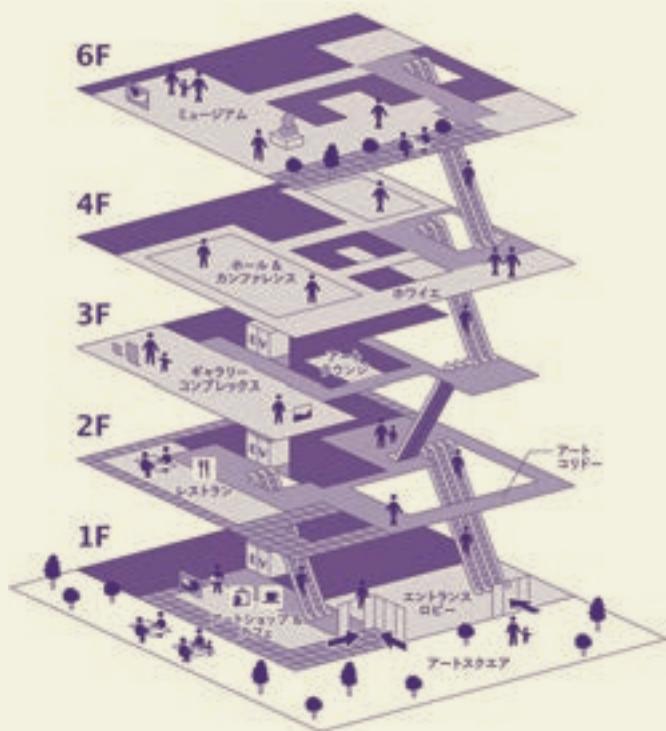
国内トップレベルの耐震性能を実現するため、コアウォール免震構造を採用し、地震時の変形を一般的な超高層制振構造の1/4、超高層免震構造の1/2に抑えます。さらに、コアウォール免震構造は地震時の揺れを大幅に低減します。



コアウォール部分の近影(8階部分)

芸術文化エリア概要

TODA BUILDINGの芸術文化エリアは、建物の低層部1～6階にまたがる芸術文化施設と商業施設で構成されます。特区テーマである「まちに開かれた、芸術・文化拠点の形成」に対して、主として「新進アーティストの育成」および「情報発信の場の創出」を担い、アートの拠点として京橋のランドマークのひとつになることを目指します。



TODA BUILDING 低層部構成

■6F ミュージアム

最新のカルチャーが集結する東京の中心に誕生する、斬新なコンテンツを扱う企画展型のミュージアムです。音楽、映画、アニメ、建築、現代アートといった多彩なジャンルを展開します。
(運営者：株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツ)

■4F ホール&カンファレンス

セミナー、展示会、パーティーなど幅広い用途に対応可能な大小二つのホールがあります。中央通りに面する約65mの大きなホワイエでのレセプションパーティ演出など様々なニーズに応えます。また面積可変の複数の貸会議室も様々なビジネスシーンに役立ちます。
(運営者：株式会社マグネットスタジオ)

■3F ギャラリーコンプレックス

日本の現代アートシーンを代表する4つのギャラリーが東京の中心に集結し、東京駅前エリアが現代アートの発信拠点へと変貌します。
(運営ギャラリー：タカ・イシイギャラリー、小山登美夫ギャラリー、KOSAKU KANECHIKA、Yutaka Kikutake Gallery)

■2F レストラン&コンビニエンスストア

■1F アートショップ&カフェ

2Fには約5店舗の飲食店舗とコンビニエンスストアが出店予定。また、カフェが併設した1Fのアートショップでは、アート・デザイン・ものづくりのクリエイターが生み出す作品・プロダクトが購入できます。日常とアートを結びつけた鑑賞体験ができます。

アート事業「ART POWER KYOBASHI」 —アートによるエコシステムの構築—

当社のアート事業は、コンセプトを「ART POWER KYOBASHI」とし、TODA BUILDINGを拠点にアーティストやキュレーターなど芸術文化の領域で活動する新進のクリエイターが集い、創作・発表し、評価を受けて自立成長していく仕組みを各種プログラムの実践を通して構築・支援するものです。2024年のTODA BUILDING完成後は、3階にアート事業の活動拠点となるアートラウンジを設置し各種プログラムを本格稼働します。



共用空間に展開するパブリックアート・プログラム

天井高さ約16mの大きな吹き抜け空間のエントランスロビーや、その吹き抜け空間を取り囲む回廊などの共用空間に、アート事業で取り組むパブリックアート・プログラムによる新進アーティストの作品を展示し、誰もが気軽にアートに触れる機会を提供します。



エントランスロビー



2023年11月8日撮影 現場状況

TODA BUILDING概要

建物名称	TODA BUILDING
所在地	東京都中央区京橋 1-7-1
構造	地上：コアウォール免震構造（鉄筋コンクリート造・鉄骨造） 地下：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
規模	地下3階・地上28階・塔屋1階
建物高さ	約165m
延床面積	約94,813m ² （28,680坪）
建築主	戸田建設（株）
設計・監理	戸田建設（株）一級建築士事務所
施工	戸田建設（株）
竣工	2024年9月（予定）
TODA BUILDING 公式ウェブサイト	https://www.todabuilding.com/
ART POWER KYOBASHI 公式ウェブサイト	https://apk.todabuilding.com/

SECC 戸田建設が描く未来のまちづくり

「CEATEC 2023」に出展しました

当社は、JEITA*1会員として10月17日から20日まで、幕張メッセで開催された「CEATEC 2023」*2に出展しました。リアル展示のほか、戸田建設が考えるレジリエントなまちづくりと称して、当社社長の講演動画を公開しておりますのでぜひご覧ください。

社長講演 <https://youtu.be/nJfi927JmNU>



SECC(スマートエネルギーコンプレックスシティ)*3

主な展示

SECC、新TODAビル&スマート技術、企業コラボの3つのテーマを基に構成しました。

①SECC(Smart Energy Complex City)

SECCは、あらゆる社会課題の解決、より良い社会の実現に向け、当社の技術や強みを最大限活かすことで、人々が活き活きと暮らすことのできる楽しいまちを想像し描いたものとなります。この構想が検討されてから数年が経過しましたが、構想実現に向け、すでに取り組みが進んでいる事例を含め、コンテンツをより進化させました。

②新TODAビル&スマート技術

2024年竣工予定の戸田建設新社屋「TODA BUILDING」の魅力を一般の方々に分かりやすく伝えるとともに、ゼネコンの枠にとらわれることなく当社が独自に取り組んでいる活動や実績を、世の中の人へ広く伝えられる場にしたいと考えています。また、スマート技術としては、省人化に向けた建築・土木の施工技術や、ロボットとヒトの共存を目指したRFA(ロボットフレンドリー施設推進機構)での取り組みを紹介し、どれも近い未来に日本が直面する問題解決の糸口となるヒントをたくさん盛り込みました。

③企業コラボ

企業コラボでは、様々な企業との新しい技術の提案のひとつとして、(株)村田製作所との共同開発技術である、作業者安全モニタリングシステム*4の未来形であるカメラを使った遠隔での現場管理の可能性を紹介しました。また、施工状況の自動記録や不具合の発見など、近い将来に実現可能性のある技術を体験型ゲームとして展示しました。

*1 Japan Electronics and Information Technology Industries Association (一般社団法人電子情報技術産業協会)のこと。エレクトロニクス技術や電子機器、情報技術(IT)に関する業界団体。略称はJEITA(ジェイタ)。

*2 毎年10月に幕張メッセで開催されている、アジア最大級の規模を誇るIT技術とエレクトロニクスの国際展示会。

*3 当社が提唱する「誰もが活き活きと暮らす快適なまち(Quality Of Life)」を目指した未来のまち。

*4 村田製作所と共同で開発し、建設作業者の生体情報や周囲環境(作業環境)をヘルメット取付型センサデバイスでリアルタイムに監視するモニタリングシステム。

関連URL：<https://solution.murata.com/ja-jp/service/wms/>

マリッサリゾート サザンセット周防大島リニューアルオープン

～世界有数の多島美「瀬戸内」で心を癒す 美しく輝く上質な休日～

当社グループ会社である東和観光開発(株)は、同社が運営するリゾートホテルを上質な旅の体験を提供する「MARISSA RESORT sazanseto suo-oshima」として2023年7月2日にリニューアルオープンしました。



リニューアルにあたり

周防大島や近隣の県の皆様に愛され、ファミリー向けホテルとして30年間運営してまいりましたが、その間生活スタイルやニーズも変化し、リニューアル工事を機に、上質な滞在型ホテルとして生まれかわりました。常に多くの情報に困まれ慌ただしく過ごす皆様に、瀬戸内の穏やかな自然に心と身体を癒す体験を提供いたします。

ホテルコンセプト

Marissa Retreat

Respect for Nature

優美で雄大な自然に自分を見つめ

Relax and Luxury

自然の中にとけこむ空間の居心地の良さ

Reborn with Activity

あなたがあなたであるために

「MARISSA RESORT sazanseto suo-oshima」は、ホスピタリティ溢れるサービスでお迎えます。



今後の展望

瀬戸内エリアは、2019年New York Timesの「52 Places to Go in 2019」に日本で唯一選出(7位)され、また大手人材派遣会社の本社移転や米半導体大手の日本法人の工場の移転、さらに本年G7広島サミット開催など「観光、経済、政治」と世界から注目が集まっています。

観光庁は、高付加価値旅行者の誘致に向け取り組んでいますが、このエリアには、上質なホテルが少なく、ラグジュアリーホテルへの転換は地域観光資源として期待されています。

高級外資系ホテル出身者の総支配人を迎え、グローバルスタンダードホスピタリティを浸透させ、高付加価値な旅(Authentic Travel)の提供に努めてまいります。

SDGs活動を通して「環境・経済・社会課題」に積極的に取り組むとともに、マリッサリゾートが地域の拠点として地域創生に寄与し、今後の周防大島の持続的な発展に貢献してまいります。

施設概要

所在地	山口県大島郡周防大島町平野 1347-1
客室数	62室
事業主体	東和観光開発(株)
設計	戸田建設(株) 一級建築士事務所
施工	戸田建設(株) 広島支店
ホームページ	https://www.marissa-resort.jp/

農業6次産業化によるあたらしいまちづくり

アグリサイエンスバレー常総 まちびらきセレモニー&内覧会開催



当社がPPP事業協力者として茨城県常総市とともに事業推進をうけてまいりました、農業6次産業化を軸とした新たな地域創生拠点「アグリサイエンスバレー常総」のまちびらきに伴うセレモニーと新規オープン施設の内覧会を、2023年5月26日に開催いたしました。

当日は新しくオープンした茨城県初の「TSUTAYA BOOKSTORE」である「TSUTAYA BOOKSTORE常総インターチェンジ（運営：東和観光開発（株）、当社グループ会社）」の内覧会を実施。コーヒーなどの飲み物を片手に、楽しみながら本をお選びいただける「BOOK&CAFÉ」を中心として、ライフスタイル提案型の複合書店をご覧くださいました。施設内には、親子で遊べる全天候型あそび場「kusu-guru kids park（企画：（株）ボーネルンド）」、屋外にも無料のあそび場「こども広場」を備え、グランドオープン前には、市内や近隣の親子を招待しました。多様なお客様が集い、親子連れでも快適にお過ごしいただける空間の提供を通して、地域のコミュニティハブになる施設を目指します。また、施設内のジェラートショップ「SENDA BANDA（運営：TODA農房常総（同）、当社グループ会社）」では、自社栽培のいち

ごや地域の旬の素材を使ったジェラートを提供しており、地域と連携・協力することで農業6次産業化を進めます。



手前右の建物が「TSUTAYA BOOKSTORE常総インターチェンジ」

まちびらきセレモニーでは、主催者である当社を代表して植草執行役員副社長より、「当社初となるまちびらきプロジェクトであり、地域創生というテーマのもと、農地をなくす開発ではなく、農地と共生し地域のためになる開発を進めていきたい」との挨拶があり、来賓である常総市の神達市長は、「子どもたちが農業の将来に夢を抱けるようにすることを目指し、構想を実現する常総市として初の官民連携による取り組みを行っている。これからも地方創生のモデルとなるような取り組みをしていきたい。」と未来への展望を語りました。

超高強度CFT柱で大空間を実現

Fc150N/mm² 級超高強度コンクリートを使用したCFT柱の施工法の確立

当社は、設計基準強度(以下、Fc) 150N/mm²級超高強度コンクリートを使用したコンクリート充填鋼管柱(以下、CFT柱)の施工法を確立しました。本技術の開発により、地震に対する安全性を確保しながら、柱断面の縮小や柱本数の削減^{※1}が可能となり、これまで以上に、自由でゆとりある大空間を実現することができます。



写真1 CFT柱実大試験体

※1 一般的なCFT柱に対して約2倍の軸耐力向上が図れますので、同じ柱断面で負担できる床面積が増大し、結果として柱断面寸法の縮小や柱本数の削減を実現できます。

開発の背景

鋼管内にコンクリートを充填したCFT柱は優れた耐力や耐火性を有しているため、様々な大型建築物に適用されています。当社はすでにFc150N/mm²級超高強度コンクリートと780N/mm²級鋼材を使用したCFT構造について、「高強度

SuperCFT工法」として第三者機関の構造評定を取得しており、Fc120N/mm²の高強度コンクリートを使用したCFT柱の施工実績も有しています。この度、現在建設中の新社屋「TODA BUILDING」(以下、TODAビル)においてFc150N/mm²の超高強度コンクリートを使用したCFT柱を適用することとしました。しかし、Fc150N/mm²級超高強度コンクリートは粘性が高く、CFT柱への充填性確保が難しいという問題がありました。

本技術の概要

本技術は、様々な要素実験や実大施工実験(写真1)の結果に基づいて、主に1. コンクリートの調合設計、2. CFT柱内に配置するダイヤフラム他の鋼材の形状、3. コンクリート充填施工手順と方法の3点において、各種の工夫を盛り込むことで、超高強度コンクリートのCFT柱への密実な充填と、柱内コンクリートの強度を安定的に確保し、高い構造性能や耐久性を実現しています。特に通常ダイヤフラム外縁に設ける空気抜き孔を、本技術では内側にも設けることによって、ダイヤフラム下部へのコンクリートの充填性を向上させます(特許出願中)。

本技術の詳細

CFT柱は、鋼管内に密実にコンクリートを充填する必要があります(写真2)。コンクリートの充填方法としては、鋼管下側に設けた圧入口からコンクリートポンプによって圧入する工法(圧入工法)と、鋼管上部からコンクリートバケットと打込み

ホースを使用して落とし込む工法(落とし込み充填工法)があります。特に鋼管内を横断するように取り付けられた板(ダイアフラム)の下部は空隙が生じやすい部分ですが、どちらの工法においても、柱内に密実にコンクリートを充填し、所定の強度を確実に発現させる必要があります。Fc150N/mm²級超高強度コンクリートを使用したCFT柱について実施した様々な要素実験や実大施工実験による施工検証から、以下のような工夫を行うことで、密実なコンクリートの充填、確実な強度発現を実現しました。

- (1) シリカフェウムプレミックスセメント^{*2}に半顆粒状のシリカフェウム^{*3}を別添することで、コンクリートの強度増進および施工性、充填性が向上します。
- (2) 通常ダイアフラム外縁に設ける空気抜き孔を内側にも設けることで(写真3参照)、ダイアフラム下部への充填性が向上します(特許出願中)。
- (3) 落とし込み工法において、コンクリートバケットに取り付けるホース径を最適化することで、最適な打ち上がり速度の維持や、コンクリートを打ち込む際に巻き込まれる空気を減らしています。

※2 低発熱系のセメントに、シリカフェウムを混ぜて製造したセメントで、粘性の低減が可能となり、さらに長期的な強度発現性に優れたセメントです。

※3 フェロシリコンや金属シリコン等を製造する際に発生した煙を集塵して得られる、セメント粒子よりも小さい球状の微粒子です。

実験の結果、材齢91日における鋼管柱内のコンクリートは、150N/mm²を超える強度を発現することを確認しました。また、ダイアフラム下の充填率(柱断面積に対する、空隙等の未充填部を除いた充填部の面積の割合)も95%以上を確保できることを確認しました。



写真2 コンクリート充填状況



写真3 ダイアフラム形状の例

今後の展望

現在建設中の新社屋「TODAビル」において施工を完了いたしました。超高強度材料を用いたCFT構造を活用し、超高層建築物において高い耐震性を確保しながら、安全・安心で快適にご利用いただける空間を有する建物を積極的に提供してまいります。

凍結杭頭処理工法が国土交通省発注工事の指定工法として採用されました 静的破碎による凍結杭頭処理工法「しずかちゃん®」

当社と(株)精研(本社:大阪府大阪市、社長:辻 武寿)で共同開発した、静的破碎による凍結杭頭処理工法「しずかちゃん®※1 ※2」(以下、本工法)が、国土交通省が提示する新技術活用工事となっている橋台工事(以下、本工事)の指定工法として採用されました。

本工法は、水が凍結するときの膨張力を利用してコンクリートを破碎することで、騒音や粉じんの課題を解決するため「場

所打ち杭工の杭頭処理における環境対策向上に資する技術」として採用されたものです。

- ※1 静的破碎による凍結杭頭処理工法「しずかちゃん®」の外販事業を開始：
https://www.toda.co.jp/news/2022/20220215_003015.html
- ※2 工法紹介ホームページ：
<https://www.shizukachan.com/>

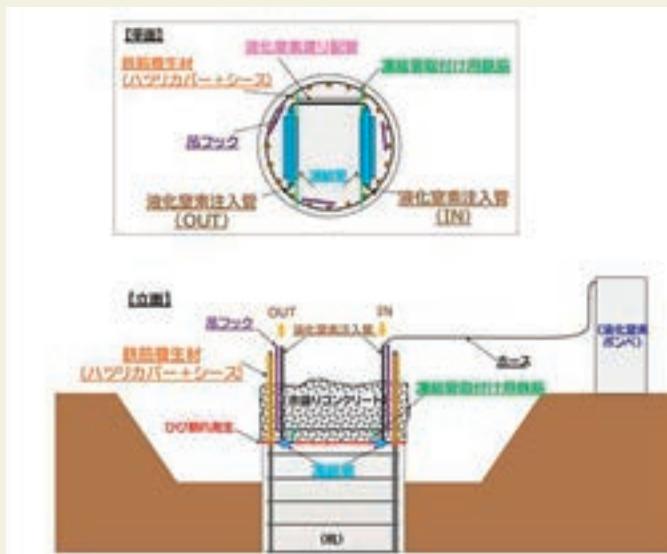


図1 凍結杭頭処理工法の概要図と杭頭余盛り部の引き抜き状況

採用の背景

場所打ち杭余盛り部は、ハンドブレーカーにより解体することが一般的に行われているため、作業時の騒音や粉じんにより、工事現場周辺にご迷惑をおかけする要因となっています。本工事も、周辺に住宅や教育施設が立ち並び、環境への配慮が必要であったために、騒音や粉じんの発生源となる作業を約9割削減できる本工法が、橋梁構造物の基礎となる場所打ち杭の杭頭処理工法として採用されました。

工法の特長

本工法は、水が氷になる際に膨張する力を利用して、コンクリート構造物に亀裂を発生させ解体する技術です。技術開発した凍結管を、杭のコンクリート打設前にあらかじめ設置しておき、所定のコンクリート養生期間後に、凍結管内に封入してある水を液化窒素により凍結させることで、凍結管の設置面に亀裂を発生させ余盛り部と杭本体の縁を切り、最後に揚重機で引き抜くことで杭頭処理を行います。

特長は以下のとおりです。

- 杭頭部におけるのり作業が従来工法の1割程度で済むため、騒音・粉じんの発生が少ない
- 適用実績は最大杭径2,600mm
- 破壊実績はコンクリート強度90N/mm²で、高強度コンクリートにも適用可能
- NETIS登録済み(QS-210033-A)

当工事への適用結果

今回は、杭10本(直径1,200mm)の余盛りコンクリートの揚重撤去を約5時間で完了しました(写真1)。のり作業は、破砕面の仕上げのり程度で済み、周辺環境への配慮だけでなく、作業員の労働環境改善にも大きく貢献しています。



写真1 国交省工事にて監督官・関係者立会いのもと余盛り部の揚重状況(赤丸破線部)

今後の展開

本工法は、東京都建設局が実施している「新技術情報データベース NeTIDa^{*3}」にも、2023年3月に登録されました。都心部の工事ではもとより、周辺環境への配慮が必要な工事、生産性の向上が必要な工事などへ、社外展開すべく情報発信してまいります。ご採用や工法については、「しずかちゃん[®]ホームページ」よりお問い合わせください。

*3 「新技術情報データベース NeTIDa」ホームページ: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/tech/shingijutsu/index.html>

「戸田建設 コーポレートレポート2023」を発行

このたび、2022年度の財務報告とサステナビリティ（持続可能性）に関する活動実績等を取りまとめた「戸田建設 コーポレートレポート2023」（統合報告書）を発行しました。

本レポートは、当社の理念、経営戦略、サステナビリティ活動の実績、当社が創造する具体的な価値などについて、すべてのステークホルダーの皆様を理解していただけるよう、分かりやすくかつ簡潔な編集に配慮して制作しています。



著しい変化が予想される未来に向け、経営者メッセージや、「中期経営計画2024 ローリングプラン」の進捗、財務戦略、人財戦略、事業戦略などを掲載しています。またサステナビリティビジョン2050における当社のマテリアリティ（重要課題）に基づき様々な取り組みをご紹介します。

本レポートを、当社オフィシャルサイトにおけるサステナビリティサイト、IRサイトとともに、ステークホルダーの皆様との重要なコミュニケーションツールのひとつに位置づけ、さらなる充実に努めてまいります。

広瀬アリスさんを起用した新TVCMを放映!

当社が掲げるブランドスローガン「Build the Culture. 人がつくる。人ですつくる。」をテーマに制作した新TVCMが全国で放映中です。

URL: <https://www.toda.co.jp/company/library/buildtheculture/>

🔍 検索

Build the Culture

五島市沖洋上風力発電事業の運転開始時期を2026年1月に延期

五島フローティングウィンドファーム合同会社は、再エネ海域利用法に基づく「五島市沖洋上風力発電事業」(以下、本事業)において浮体式洋上風力発電所を建設しておりますが、既報のとおり、浮体構造部に不具合が発見されたことにより、当初の工程を見直すこととなりましたのでお知らせします。

1) 運転開始時期の変更

本事業の運転開始時期は、当初2024年1月を予定しておりましたが、製作中の浮体構造部に不具合が発見されたことによる工事工程の遅延により、運転開始時期を2026年1月とする公募占用計画の変更申請を実施し、2023年9月22日に、国(経済産業省および国土交通省)から認定を受けました。

2) 崎山沖に設置済みの浮体の陸揚げ作業を実施

本事業において建設工事を担当する当社は、地上ヤードで製作中の浮体構造部2基に不具合が発見されたことを2023年5月9日に公表しました。

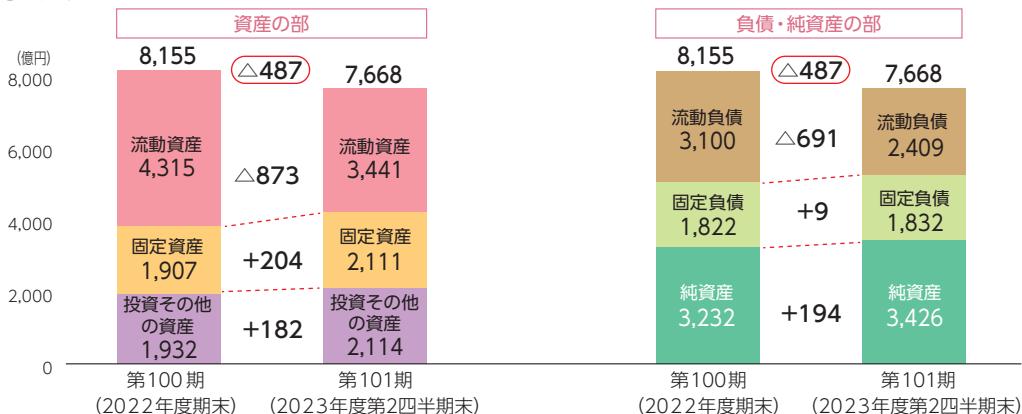
これにつきまして、既に事象の確認と原因究明および対策工法の検討を実施し、地上ヤードにて、2基の不具合の是正措置および建設工事の再開を実施しております。

この度、海上に既に設置している浮体についても、同様の不具合の有無を確かめるために、検査を実施することとなりました。崎山沖に設置済みの浮体3基のうち1基を福江港岸壁に陸揚げし、浮体構造部の健全性を検証したうえで、残りの浮体2基の取扱いについて判断する予定です。

事業概要

事業名称	五島市沖洋上風力発電事業
事業主体	五島フローティングウィンドファーム合同会社
発電設備	浮体式洋上風力発電設備 16.8MW(=2.1MW機×8基) (全長176.5m、ローター径80m)
所在地	長崎県五島市沖
運転開始	2026年1月(予定)
参画企業	戸田建設(株)、ジャパン・リニューアブル・エナジー(株)、大阪ガス(株)、(株)INPEX、関西電力(株)、中部電力(株)

連結貸借対照表



資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計については、未成工事支出金が72億円、建設仮勘定が125億円、投資有価証券が162億円増加しましたが、現金預金が101億円、受取手形・完成工事未収入金等が877億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して487億円減少の7,668億円(6.0%減)となりました。

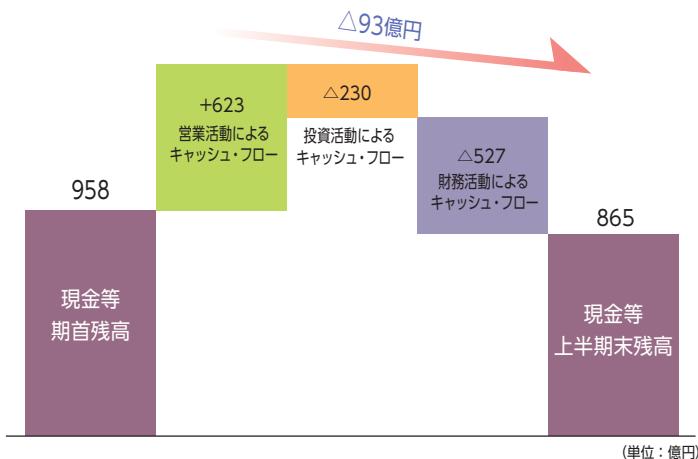
負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計については、未成工事受入金が137億円、預り金が42億円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が371億円、短期借入金が435億円、長期借入金が44億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して681億円減少の4,241億円(13.8%減)となりました。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上52億円、保有する投資有価証券の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加111億円、円安に伴う為替換算調整勘定の増加61億円などにより、前連結会計年度末と比較して194億円増加の3,426億円(6.0%増)となり、自己資本比率は43.8%となりました。

連結キャッシュ・フロー 2023年度第2四半期



連結キャッシュ・フローの状況

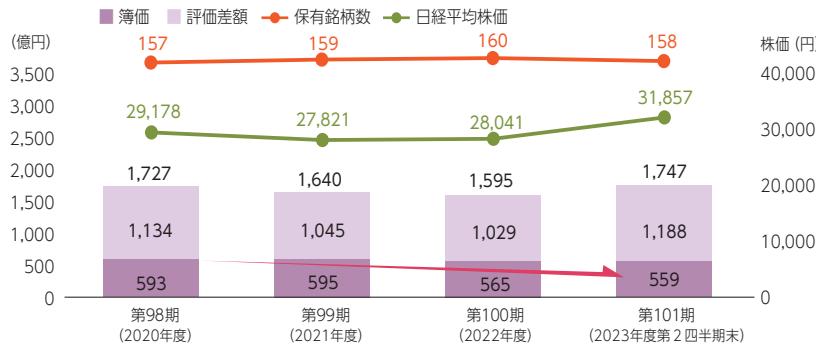
当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。))は、前連結会計年度末と比較して93億円減少し、865億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、623億円の資金増加(前年同四半期連結累計期間は83億円の資金減少)となりました。未成工事支出金の増加により68億円、仕入債務の減少により384億円、法人税等の支払により66億円の資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益91億円、減価償却費32億円に加えて、売上債権の減少により900億円、未成工事受入金の増加により131億円の資金が増加したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、230億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は120億円の資金減少)となりました。投資有価証券の売却及び償還により32億円の資金が増加しましたが、有形固定資産の取得により233億円、投資有価証券の取得により15億円、貸付金の増加により10億円、子会社株式の売却により10億円の資金が減少したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、527億円の資金減少(前年同四半期連結累計期間は322億円の資金減少)となりました。長期借入金の増加により31億円の資金が増加しましたが、短期借入金の返済により506億円、配当金の支払により42億円の資金が減少したことが主な要因です。

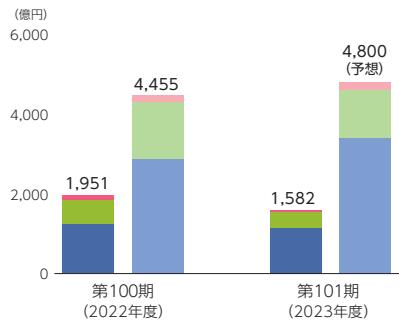
政策保有株式の推移(個別)



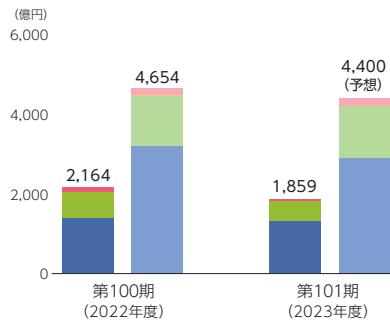
政策保有株式の売却実績

	売却銘柄数	売却価額
2020年度	21 銘柄	57 億円
2021年度	12 銘柄	45 億円
2022年度	10 銘柄	115 億円
2023年度 第2四半期	5 銘柄	33 億円

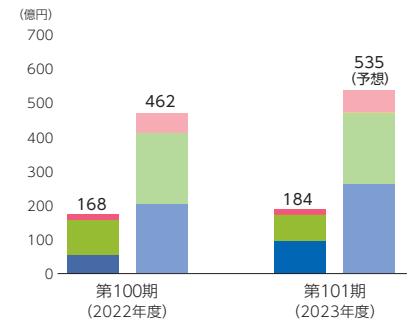
受注高(個別)



売上高(個別)

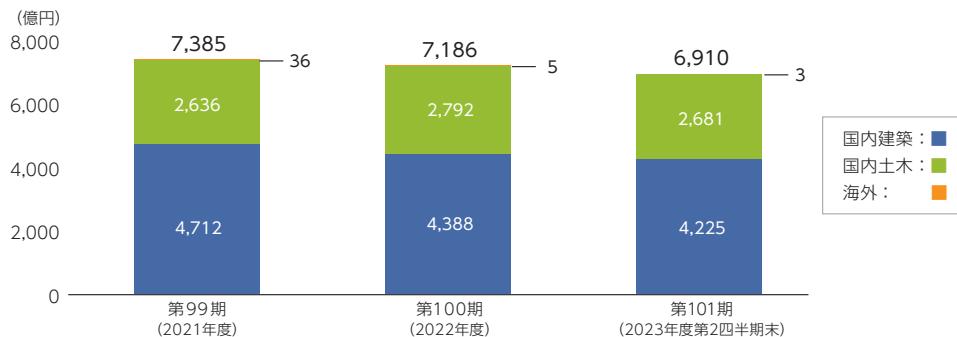


売上総利益(個別)



建設事業 国内建築：■上半期 ■通期 投資開発事業等：■上半期 ■通期
国内土木：■上半期 ■通期
海外：■上半期 ■通期

繰越工事・工事種別内訳(個別)



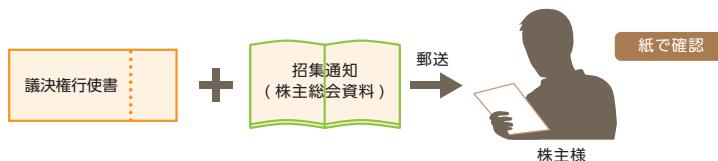
株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。この制度においては、インターネットのご利用が困難であるなどの株主さまのご事情に配慮して、「書面交付請求」制度が設けられています。

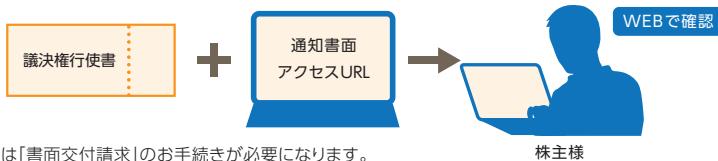
2024年6月定時株主総会に関しまして、株主総会資料の書面での受領を希望される株主さまは、2024年3月末日^(注)までにお取引のある証券会社、または当社株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きを完了していただく必要がございます。

(注) 株主総会の基準日がお手続きの期限です。お手続きが間に合わなかった場合は、書面交付でのお渡しはその翌年の株主総会からとなる場合があります。

2023年2月以前



2023年3月以降



※ 招集通知全文を受領されたい場合は「書面交付請求」のお手続きが必要になります。

招集通知の書面交付をご希望の場合



株主総会資料の電子提供に関する お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル ☎ 0120-696-505 (受付時間: 土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

よくあるご質問 <https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

もしくは株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。



株主様アンケート結果のご報告

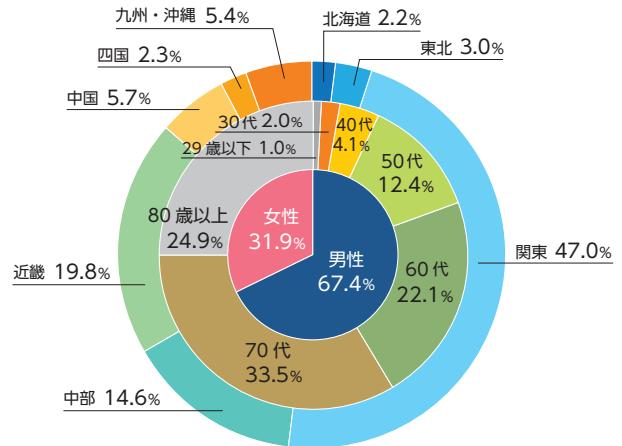
株主優待案内に同封いたしました株主様アンケートにつきまして、3,840名の株主様よりご回答をいただきました。

ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

皆様からのお声の一部を掲載いたします。

いただきましたご意見は、今後の経営やIR活動に活用させていただきます。

- 調査期間 2023年6月8日～6月27日
- 調査対象 1,000株以上保有株主 5,884名
- 回答者数 3,840名
- 回答率 65.3%



株主の皆様の声



Q もっと株主還元を強化してください。

A 当社では、株主の皆様への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益還元を行うことを基本方針としております。直接的な利益還元と中長期的な株価上昇による株主還元を目指し、DOE（純資産配当率）2.5%以上、ただし総還元性向40%以上を目標としております。ご理解のほど、よろしくお愿いいたします。

Q TODA BUILDINGの完成で、京橋地区がにぎわい発展する事を望みます。

A ありがとうございます。本紙の6ページ以降に記載いたしておりますとおり、「まちに開かれた、芸術・文化拠点の形成」をテーマに京橋のランドマークとなることを目指してまいります。

Q 知名度の向上を頑張ってください。

A このたび、広瀬アリスさんを起用した新CM放映を日本テレビ系列「news zero」で行っております（毎週木曜日）。また、ラジオではニッポン放送「オールナイトニッポン」、「SDGs MAGAZINE」にCMを出稿しております。ぜひご視聴ください。

■ 会社概要

(2023年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区八丁堀二丁目8番5号)

支店

- ・ 東京支店(東京都港区)・ 首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・ 千葉支店(千葉市)・ 関東支店(さいたま市)
- ・ 横浜支店(横浜市)・ 大阪支店(大阪市)・ 名古屋支店(名古屋)
- ・ 札幌支店(札幌市)・ 東北支店(仙台市)・ 広島支店(広島市)
- ・ 四国支店(高松市)・ 九州支店(福岡市)

筑波技術研究所(つくば市)

子会社

- ・ 株式会社アペックエンジニアリング(埼玉)・ 戸田ソーラーエナジー深谷合同会社(東京)
- ・ 千代田建工株式会社(東京)・ 昭和建设株式会社(茨城)
- ・ 戸田道路株式会社(東京)・ 五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)
- ・ 戸田ビルパートナーズ株式会社(東京)・ Toda America, Inc.(アメリカ)
- ・ 戸田ファイナンス株式会社(東京)・ Thai Toda Corporation Ltd.(タイ)
- ・ 東和観光開発株式会社(山口)・ Toda Vietnam Co., Ltd.(ベトナム)
- ・ 戸田スタッフサービス株式会社(東京)・ PT Toda Group Indonesia(インドネシア)
- ・ 五島フローティングウインドファーム合同会社(長崎)・ Tobic Co., Ltd.(ベトナム)
- ・ オアショアウインドファームストラクチャー株式会社(東京)・ Toda Senegal Société à Responsabilité Limitée Unipersonnelle(セネガル)
- ・ 佐藤工業株式会社(福島)・ PT Tatumulia Nusantara Indah(インドネシア)
- ・ TODA農房合同会社(東京)・ Toda Energia do Brazil Ltda.(ブラジル) 他

● 従業員の状況

従業員数 6,716名(連結) 4,321名(単体)

● 取締役及び監査役(2023年9月30日現在)

代表取締役会長	今井雅則	常勤監査役(社外)	百井俊次
代表取締役社長	大谷清介	常勤監査役	若林英実
取締役	山寄俊博	監査役(社外)	丸山恵一郎
取締役(社外)	網谷駿介	監査役(社外)	佐藤文夫
取締役(社外)	伊丹俊彦	監査役(社外)	西山潤子
取締役(社外)	荒金久美		
取締役(社外)	室井雅博		

(注) 取締役網谷駿介氏、伊丹俊彦氏、荒金久美氏、室井雅博氏及び監査役百井俊次氏、丸山恵一郎氏、佐藤文夫氏、西山潤子氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じおそれのない独立役員であります。



〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目8番5号
TEL.(03) 3535-1354
<https://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索

■ 株式の状況

(2023年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 13,013名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大一産産株式会社	42,923	13.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,743	10.80
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST (常任代理人香港上海銀行東京支店)	12,273	3.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,147	2.92
一般社団法人アリー	8,977	2.87
株式会社三菱UFJ銀行	8,048	2.57
戸田 博子	6,611	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090811)	6,002	1.92
戸田建設取引先持株会	5,734	1.83
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS (常任代理人香港上海銀行東京支店)	5,339	1.70

(注) 1 上記のほか、当社所有の自己株式10,110千株(役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が所有する株式を含めていない)があります。
2 上記の所有株式数のうち日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び株式会社日本カストディ銀行については、信託業務に係る株式数を把握しておりません。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当)9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
【同連絡先】	
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-711(通話料無料)	
【郵送先】	
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	https://www.toda.co.jp/
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。	

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。 環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。